

# 栃木県生協連・2012年度9月定例報告



2012年9月26日  
栃木県連 専務 鎌柄

## (1) 8月活動日誌

日付	曜日	日誌
8月2日	木	県連理事会
8月3日	金	ぽぽら協働推進研究会
8月4日	土	いわき四倉工業団地仮設でのお茶会
8月6日	月	県連国際協同組合同年ワーキングチーム会
8月7日	火	県連くらし部会、うつのみや食育フェア実行委員会
8月9日	木	土屋前会長告别式
8月10日	金	県防災訓練全体会議
8月17日	金	JC総研協同組合セミナー
8月19日	日	とちぎ暮らし応援会放射能学習会
8月20日	月	国際協同組合同年栃木県実行委員会
8月21日	火	ふれあいお茶会(納涼祭)、福祉ネットワーク世話人会
8月22日	水	県議会生活保健福祉委員会(消費者行政について会長参考人報告)
8月23日	木	食の安全ネット世話人会、福祉センター理事会
8月25日	土	栃木保健医療生協職員学習会(国際年関係)、生活クラブまるごと栃木まつり
8月26日	日	栃木保健医療生協職員学習会(国際年関係)
8月27日	月	連合総研講演会
8月29日	水	食の安全消費者セミナープロジェクト、うつのみや食育フェア出展者説明会
8月30日	木	県食品表示セミナー、県連中田常務実母告别式

※まとめは概況とします。

## (2) 8月活動の概況

### (会員等の動き)

栃木県生協連土屋雅典前会長理事が8月逝去されました。土屋前会長は、1980年第11回総会から1984年第15回総会まで栃木県生協連の非常勤専務理事をされ、2002年第33回総会から2003年第34回総会まで会長理事を務められました。また、元生協とちぎの専務理事を長年務められ、とちぎコープ生協との合併(2000年)に尽力されました。これまでの県連及び県内生協への貢献に感謝申し上げ、謹んでご冥福をお祈りいたします。

国際年の関係で会員独自の取り組みが行われている。8月は栃木保健医療生協での役職員の学習の為に合宿、10月28日には全労済栃木県本部としての組合員向け「防災フェスティバル」も予定されている。

#### (部会等の動き)

8月7日定例のくらし部会が開催された。3会員1連合会、10名の参加があった。うつのみや第7回食育フェア、ECO テック&ライフとちぎ2012、それぞれの出展内容について検討され、エネルギー政策の学習会も10月に行うことになった。また、3生協の活動交流が行われた。

#### (宇都宮市内と福島県で避難されている方々のふれあいお茶会)

8月21日(火) 13回目のふれあいお茶会は「納涼祭」として15時から開催された。参加者は、浪江町の方21名(内子供8名)、福島市の方5名(内子供4名)、双葉町の方3名(内子供1名)、南相馬市の方5名(内子供3名) 大熊町の方6名(内子供2名)、浪江町他約10名、いわき市の方1名(内子供1名)、相馬市の方1名、飯館村の方1名、石巻市の方1名、大人26名 子供27名 合計26名、合計63名もの参加があった。ぼぼら1名、スタッフは県連、とちぎコープ、よつ葉生協、ふれあいコープ、NPOウィズ、計14名だった。屋外での焼きそば、かき氷、フランクフルトや、わたあめなど楽しい催しとなった。福島への応援募金も取り組まれた。

#### (いわき市中核工業団地内仮設でのお茶会)

8月4日(土) 第6回目のお茶会のスタッフ参加者は、とちぎコープ8名、ふれあいコープ1名、NPOウィズ1名、県連2名の計12名、車はとちぎコープ、ふれあいコープの2台でいわきに向かった。当日はお盆前という事もあり、参加された方は10名だった。お茶を飲み、お話をされ、手作りマグネットづくりなど皆さんで楽しまれたひと時になった。夏場でもあり軽食は、麺など夏らしい食材を理事のみ皆さんで用意いただいた。

#### (EAST LOOPへのご協力をお願い)

岩手、宮城など被災された方々が製作されているハートブローチについて、約500ヶの普及が進められた。また、組合員さん向けに事業ルートを通して普及が進められ、とちぎコープで約1,070ヶ、よつ葉生協で309ヶの普及が行われている。

#### (食の安全課題の関連)

8月23日食の安全ネットワーク世話人会が開かれ、次回10月の全体会の内容について確認された。学習会は、福島大学小山良太准教授に「放射汚染から食と農の再生を」テーマをお願いすることとした。参加団体からの報告は、3団体(地婦連、とちぎコープ、よつ葉生協)からお願いすることとした。

29日第5回「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」プロジェクトも開かれた。「消費者セミナー」の各会場の日程、講師などの企画と今後の準備内容について検討が行われた。JA栃木中央会でも県内3会場の開催計画が検討され、全体で6団体、19会場に取り組みの幅が広がる見通しとなった。

#### (消費者課題の関連)

8月22日栃木県議会「生活保健福祉委員会」で、今年度の調査テーマとして「今後の消費者行政の推進、長寿社会における健康づくり」が、取り上げられた。22日の同委員会が開催され、消費者庁地方協力課長から、その後栃木県生協連竹内会長から参考人意見が述べられた。8人県議と行政関係者、傍聴と多くの参加があった。会長から県内の消費者行政の現状、県内自治体訪問やアンケートを通じた課題が、詳しく話された。

「生活保健福祉委員会」では、今年度新設された那須町の消費生活センターの視察も取り組まれている。

#### (福祉の関連)

8月21日福祉ネットワーク世話人会が開催された。秋の全体会は先進事例見学を予定しており、(社) コミュニティネット協会がゆいま〜る倶楽部として、全国規模で医療と介護の連携モデルの一つとして、多摩平の森プロジェクト(公団住宅の再生を通じた高齢者住宅)の見学を、10月に行うこととした。

#### (国際協同組合理年)

第3回目の栃木県実行委員会が、8月20日に開催された。6月23日の「協同組合まつり」の報告と12月5日「協同組合交流会」を開催することが決まった。実行委員会代表だったJA栃木中央会の高橋一夫前会長から同会高橋武会長に、副代表だった栃木県森林組合連合会高村前会長から同組合江連会長に交代された。

8月6日第12回の国際協同組合理年ワーキングチーム会が開催された。「協同組合の役割と未来」第4章(協同組合への期待)、コープ福祉とちぎ介護職員澤田望さんからのレポートと、「協同組合憲章草案」の冊子7~9(協同組合憲章をどのように生かすか、ICA「協同組合のアイデンティティ声明」とは)全労済栃木県本部 事業推進課係長篠崎則男さんからのレポート、宇都宮大学農学部原田准教授からのコメントもいただきながら、意見交換がされた。次回は、社会貢献・若者の自立支援に取り組まれている(社)栃木県若年者支援機構の中野謙作理事長にお話を伺うこととした。

#### (日本生協連関連報告及び要請事項)

安心して住める「福島」を取り戻すための活動について、8月2日県連理事会で再確認をいただいた。募金及び署名について、会員での取り組みをいただいている。

ブリヂストン那須グループ生協 職員内での署名の集約
栃木県職員生協 職員内での署名の集約
生活クラブ生協 組合員向けに署名推進 集約9月中予定
とちぎコープ生協 組合員向けに署名推進と募金の推進
よつ葉生協 組合員向けに署名推進と募金の推進
栃木県学校生協 組織募金を予定
ふれあいコープ 職員内での署名の集約 9月末1次集約、12月末2次集約予定

引き続き、他の会員でも可能な取り組みの推進をお願いしたいと思います。

#### 「あんしん福島募金」

- ・全国目標 13,600万円(福島県内生協へ内部被爆の測定器、食品の放射線測定器)
- ・期日 2012年度末

#### 【署名の要請項目】

- |                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"><li>東京電力福島第一原発の事故を早く収束させ、第一・第二原発ともに廃炉にすること。</li><li>全県民の内部被ばくの検査と無料検診を行うこと。</li><li>食品の検査体制の充実を図り、食の安全を守ること。</li><li>正確な汚染状況を調査し、正しい情報公開を行うとともに除染を進めること。</li><li>原発事故により被った全ての損害を補償すること。</li></ol> 以上の問題を二度と引き起こさないために脱原発を進めること。 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

#### (行政・他団体との協働)

9月2日栃木県・那須烏山市との総合防災訓練が、同市大桶運動公園(那珂川河川敷)で(昨年一年は延期)開催された。参加会員は、とちぎコープ、よつ葉生協、栃木保健医療生協の3会員から、とちぎコープ9名、よつ葉生協3名、医療生協2名、県連3名の計17名の参加があった。応急物資の供給訓練と展示コーナーでの飲料の配布と、医療生協による血圧測定が行われた。生協のトラックが訓練会場に入ると生協だよと、見学のご家族の声が聞こえて来る。天候が不順と心配された面もあったが、全体的に訓練全体は支障なく進行できた。次年度は足利市での開催の予定。



(9月2日那須烏山市で行われた県総合防災訓練)

#### (3) 10～12月の課題

1. 10～12月部会活動の推進  
(うつのみや食育フェア、ECOテック&ライフへの出展)
2. 10～12月ネットワーク活動(食の安全ネット、消費者ネット)推進  
(食の安全安心とちぎ消費者セミナーの推進を含む)
3. 2012年国際協同合年栃木県実行委員会開催と交流会の成功
4. 栃木県生協連内の国際協同組合年ワーキングチームの活動推進
5. 安心して住める「福島」を取り戻すための活動推進
6. 震災被災地・被災者への支援・ボランティア派遣
7. 第5次中計委員会の推進

(2012 年度・栃木県連・ネットワーク・行政・関係団体等行事の事前のお知らせ)

## 1. 栃木県生協連の活動予定 (9～10 月)

- 9 月 18 日 (火) 10 時～、特養みどり「ふれあいお茶会」  
10 月 1 日 (月) 10 時～、福祉プラザ 402、暮らし部会  
10 月 13 日 (土) 8 時壬生集合、11 時～、いわき市四倉工業団地仮設での「お茶会」  
10 月 16 日 (火) 10 時～、特養みどり「ふれあいお茶会」  
10 月 17 日 (水) 16 時～、国際協同組合年ワーキングチーム会  
10 月 22 日 (月) 10 時～、とちぎ福祉プラザ・2 階第 1 研修室

### 栃木県生協連暮らし部会拡大学習会

講師 独立行政法人 科学技術振興機構 顧問 北澤宏一氏  
(福島原発事故独立検証委員会 委員長)

### 仮題「福島第原発事故の課題と今後エネルギーの在り方」

- ・福島第一原発事故から見える課題など
- ・今後のエネルギー政策を考える上での視点、各エネルギーの現状や課題について

10 月 26 日 (金) 10 時～、福祉プラザ 301、県連理事会予定

## 2. ネットワークの活動予定

9 月 20 日 15 時半～、アグリ、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」プロジェクト  
10 月 4 日 (木) 13 時半～、とちぎアグリプラザ

### とちぎ食の安全ネットワーク主催「全体会 (学習会)」

講師 福島大学 准教授 小山良太氏

テーマ「放射能汚染から食と農の再生を」

10 月 18 日 (木) 福祉ネットワーク (多摩平の森) 見学

10 月 19 日、アグリ、とちぎ食の安全ネットワーク「世話人会」予定

10 月 25 日 (水) 10 時～、日光市中央公民館、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」

講師 茨城大学理学部 教授 田内 広氏

10 月 30 日 (火) 10 時～、高根沢町民広場内・改善センター、同「消費者セミナー」

講師 福島県水産試験場 場長 五十嵐 敏氏

## 3. 国際協同組合年関係

12 月 5 日 15 時、東武ホテル、協同組合交流会予定

## 4. 栃木県及び宇都宮市、他団体の行事参加の予定

10 月 6 日 (土) 明治大学、生協総研「研究集会」

10 月 6～7 日 (日) わくわくグランディ科学ランド、「エコ・もりフェア 2012」

10 月 8 日 (月) 宇都宮城址公園他、うつのみや食育フェア

(県連暮らし部会として出展)

10 月 29 日 (月) 県総合文化センター、栃木県食育推進大会

12 月 1～2 日 (土) マロニエプラザ、県 E C O テック & ライフ 2012

(県連暮らし部会として出展)